

経営比較分析表（令和5年度決算）

沖縄県 南風原町

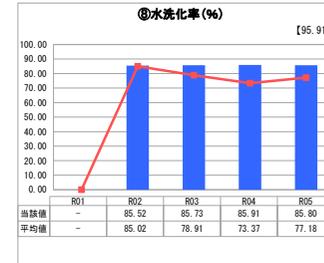
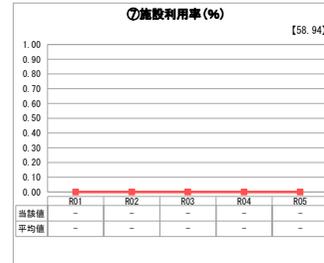
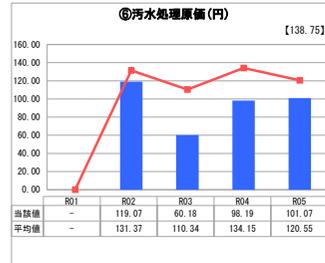
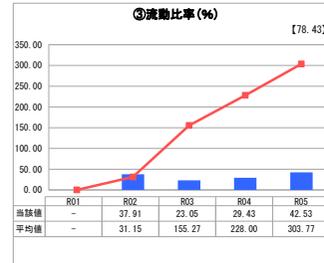
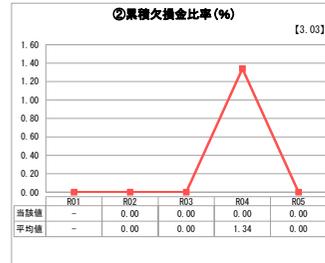
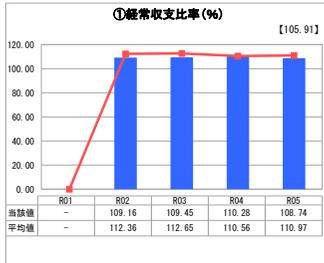
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Ca	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ² 当たり家産料金(円)
-	69.78	69.62	100.00	1,405

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
40,800	10.76	3,791.82
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
28,374	3.74	7,586.63

グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

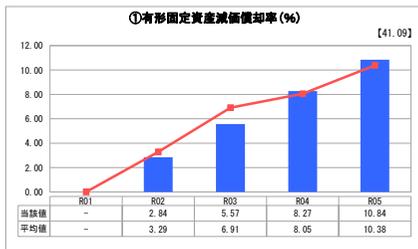
1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率: 108.74%で赤字になっていますが一般会計からの繰入れにより事業を運営している状況です。
 ② 累積欠損金比率: 0%で経営は健全です。
 ③ 流動比率: 42.53%で債務に対する支払い能力は低い状況です。
 ④ 企業債残高対事業規模比率: 1,336.13%で類似団体平均値より下回っていますが、使用料収入に対して、建設事業に係る費用が大きいため増加傾向となっています。
 ⑤ 経費回収率: 78.65%で使用料で汚水処理経費を賅っていません。
 ⑥ 汚水処理原価: 101.07円で類似団体平均値より下回っているため、効率的な汚水処理が実施されていると思われます。
 ⑦ 施設利用率: 該当なし
 ⑧ 水洗化率: 85.80%です。100%に近づいたため下水道への接続普及活動を引き続き行っていきます。

2. 老朽化の状況について

① 有形固定資産減価償却率: 10.84%で類似団体平均値とほぼ同数値ですが、供用開始の昭和60年から35年以上経過しており、老朽化に備え改築(更新・長寿命化)を検討する必要があります。
 ② 管渠老朽化率: 該当なし。
 ③ 管渠改善率: 該当なし。

2. 老朽化の状況



全体総括

令和5年度決算における経営成績について経常収支比率は100%を上回っていますが、一般会計からの繰入れにより事業を運営している状況です。令和5年6月検算分から下水道使用料改定を行いました。引き続き見直しを行い計画的に経費回収率向上に取り組んでいきます。また、乗替及解消に向けた施設整備を計画的に行います。今後は管渠の老朽化に備え改築(更新・長寿命化)等を検討する必要があります。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。